

事務事業名		統計情報提供事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立		事業期間		予算科目			
	施策名	35 効率的で質の高い行政運営の推進							
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進							
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01 02 05 01 02			
所属	部課名	商工港湾部商業観光課							
	課長名	鈴木 弘							
	係名	統計係	電話 27-3111						
	担当者	紀室 亜由子	内線 114						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
各分野の基本的な統計資料を収録した統計書の発行と市ホームページへの統計資料の掲載により統計情報を広く提供し、活用を促進する。 ・大船渡市統計書発行(毎年) ・大船渡市ホームページへの統計資料掲載(随時) ・主な業務は、①各課や外部からの統計資料の収集、②原稿執筆、校正、③印刷(委託)、④統計書の配布、⑤ホームページへの掲載 ・事業費は、統計書の印刷費として支出される。						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
							財源内訳	都道府県支出金	
							人件費	地方債	
								正規職員従事人数	
								延べ業務時間	
						人件費計(B)	0		
						トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 統計情報提供媒体数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 統計情報提供媒体数	件	イ		ウ	
名称	単位								
ア 統計情報提供媒体数	件								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動)									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・市民 ・統計資料	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 総人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 提供資料数</td> <td>頁</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 総人口	人	キ 提供資料数	頁	ク	
名称	単位								
カ 総人口	人								
キ 提供資料数	頁								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
・統計資料を生活設計や企業経営、教育・研究などに活用してもらう。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 統計書配布数</td> <td>冊</td> </tr> <tr> <td>シ ホームページ(統計)アクセス件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 統計書配布数	冊	シ ホームページ(統計)アクセス件数	件	ス	
名称	単位								
サ 統計書配布数	冊								
シ ホームページ(統計)アクセス件数	件								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
・市民の多様なニーズに的確に対応し、成果を出す。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	159	194	153	189	201	160
	事業費計(A)	千円	159	194	153	189	201	160
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	240	240	240	240	200	200
	人件費計(B)	千円	960	960	960	960	800	800
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,119	1,154	1,113	1,149	1,001	960
⑤活動指標	ア	件	2	2	2	2	2	2
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	38,938	-
	キ	頁	132	114	113	113	113	113
	ク							
⑦成果指標	サ	冊	250	200	200	180	200	200
	シ	件	7,679	4,795	3,708	3,524	4,000	4,000
	ス							

事務事業ID	0428	事務事業名	統計情報提供事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和27年市制施行の時に、市の現況紹介のために発行した市勢要覧に統計資料を掲載した。以後、市勢要覧の資料編から独立させ統計書として統計資料を提供してきた。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	統計資料を必要としている人たちは、紙ベースの資料から電子情報による資料収集・活用に変わってきており、インターネットなどから得た情報を加工・分析して効果的に活用している。平成23年度は、年度当初まで東日本大震災による停電等の影響で市ホームページの運用が停止し、再開した後の6月に3,000件を超えるアクセスがあった。近年は月平均300程度である。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	調査関係部署、事業者等から、震災前と震災後の比較及び復興状況を知るための指標として、最新の調査結果について資料の提供要望がある。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒	統計情報の提供・活用が図られ、統計に対する理解が深まり、円滑で質の高い統計行政が運営できる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒	この事業は、あらゆる分野の総合的な統計情報を提供するもので、民間ではデータ収集が難しく、また、市民への情報提供、行政運営の基礎資料としても不可欠であり市の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒	統計書の作成・配布とホームページへの掲載を行っており、情報を必要としている者が利用している状態である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒	統計資料利用者のニーズを把握し、利用する立場に立った見やすく利用しやすい資料の提示方法を研究する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒	事業を廃止した場合、市民への統計情報の提供、共有化が図れなくなる。また、行政資料としても不可欠なため企画立案・意思決定に支障がでる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒	類似事業がない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	電子情報の活用を促進することにより、統計書の印刷部数を減らし印刷費を削減する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	電子情報の活用を促進し、紙ベースによる統計書発行の必要性を検討していくが、まだ、冊子の統計書も必要であり、ベースとなる統計資料の精査等に係る業務時間は変わらないため、これ以上の削減は難しい。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒	統計書は無償頒布しており、印刷部数の7割程度が資料提供機関や公共機関への頒布である。一般頒布が3割程度であることと、電子情報の活用促進により紙ベースでの利用が減少することを考慮すると、統計書の配布希望者に受益者負担を求めることは適切ではない。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>統計書の発行と市ホームページにより統計情報を提供した。統計書については、さらに見やすいレイアウトについて検討し、一部改善を図った。今後も引き続き利用しやすい情報の提供に取り組んでいくことが必要と考える。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>統計情報は現在、インターネットで容易に検索できるため、製本による統計書の提供数は減少傾向にあることから、引き続きインターネット等電子情報による提供、活用を促進していく。製本による統計書の発行についてはニーズを見ながら発行部数を調整していく。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>インターネット等によるデータ活用を促進するため、見やすく利用しやすいホームページの作成と迅速な情報提供について運用管理していく。電子情報の活用を促進し、紙ベースによる統計書発行の必要性を今後も検討していく。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	商業観光課長	鈴木 弘
---------------	-------	--------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>・統計資料利用者のニーズを把握し、見やすく利用しやすい情報を提供することにより、成果の向上が期待できる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・利用者の立場に立った統計書の掲載内容、掲載方法等の検討を行う。</p> <p>・市ホームページによる情報提供を促進する。</p> <p>・紙ベースによる統計書発行(現在は200部)の必要性(最低限の必要部数を含む)については、引き続き検討していく。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○	●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○	●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------